

一目でわかる iPhone SE 第3世代の新機能

本書では、iPhone SE（第3世代）の操作方法を解説しています。iPhone SE（第3世代）独自の機能はありませんが、最新のハードウェア仕様とiOSで、使いやすいモデルになっています。



最新のハードウェア

iPhone SE（第3世代）は、iPhone SE（第2世代）のデザインを踏襲し、ホームボタンが搭載された伝統的なiPhoneです。一方、iPhone 13にも搭載されている最新のA15 Bionicチップが採用され、操作が快適になるのはもちろん、Neural Engineを使ったテキスト認識も可能です。また、5Gにも対応し、高速な通信が利用できるようになっています。

Safari

iOS 15以降のSafariでは、検索フィールドが画面下部に移動し、より高機能なタブバーになりました。タブは、「タブグループ」によって、テーマ別にまとめることができます。また、起動時に編集可能なスタートページが表示され、従来の「お気に入り」のほかに、ブックマーク、よく訪れるサイト、リーディングリスト、プライバシーレポートなどを表示することができます。

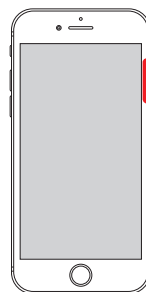
FaceTime

AndroidスマートフォンやパソコンのWindowsユーザーとも会話ができるようになりました。また、「SharePlay」と呼ばれる、音楽やビデオのストリーミングサービスのコンテンツをビデオ通話の相手といっしょに楽しむ機能が、最新のiOS 15.4から利用できるようになっています。

集中モード

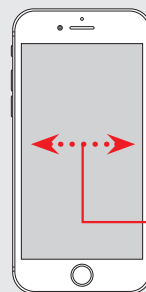
通知の動作などを、これまでのおやすみモードに加え、シーン別にさらに細かく管理できるようになりました。標準で用意された「運転中」などから選ぶほか、自分だけのモードを作成することも可能です。位置情報や時間で自動的に有効にできるほか、重要な通知は集中モードでも通知することができます。

iPhoneの基本的なジェスチャー操作



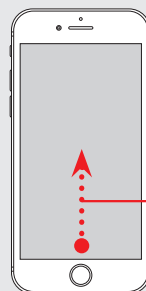
電源をオフにする

サイドボタンを
長押しする



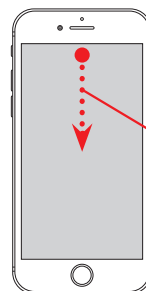
ウィジェットを表示する／
Appライブラリを表示する

ホーム画面で何回
かスワイプする



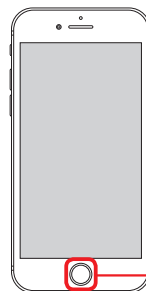
コントロール
センターを
表示する

スワイプする



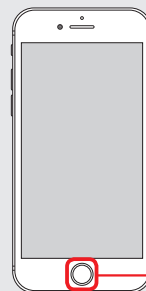
通知センター
を表示する

スワイプする



最近利用した
アプリを
表示する

2回押す



画面を下に
下げる

ダブルタップする

iPhoneの基本操作を覚える

iPhoneは、指で画面にタッチすることで、さまざまな操作が行えます。また、本体の各種ボタンの役割についても、ここで覚えておきましょう。



1 本体の各種ボタンの操作

着信／サイレントスイッチ

消音モードのオン・オフを切り替えることができます (P.52参照)。

音量ボタン

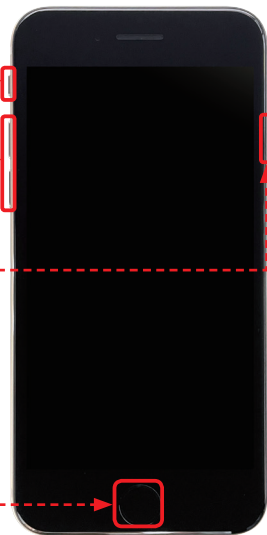
音量の調節が可能です。

サイドボタン

スリープモードの解除や、電源のオン・オフに使用します。

ホームボタン／Touch ID

ホーム画面を表示できます。縦向き状態で2回タップすると、画面が下がり、すばやく2回押すと、最近利用したアプリが一覧表示されます。指紋認証のTouch IDセンサーも兼ねています。



MEMO

本体を横向きにすると画面も回転する

iPhoneを横向きにすると、アプリの画面が回転し横長で表示されます (画面の向きが固定されていない場合)。ただし、アプリによっては画面が回転しないものもあります。



マルチタッチスクリーンの操作

タップ／ダブルタップ

画面に軽く触れてすぐに離すことを「タップ」、同操作を2回くり返すことを「ダブルタップ」といいます。



タッチ

画面に触れたままの状態を保つことを「タッチ」といいます。



ピンチ (ズーム)

2本の指を画面に触れたまま指を広げることを「ピンチオープン」、指を狭めることを「ピンチクローズ」といいます。



ドラッグ／スライド (スクロール)

アイコンなどに触れたまま、特定の位置までなぞることを「ドラッグ」または「スライド」といいます。



スワイプ

画面の上を指で軽く払うような動作を「スワイプ」といいます。



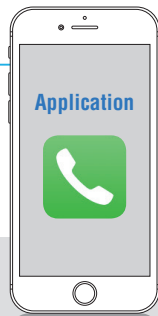
MEMO

触覚タッチ

アイコンをタッチして押さえたままにすることを触覚タッチと呼びます。通常のタッチと異なり、指にコツンとフィードバックするのが特徴です。オプションメニューの表示や内容のプレビュー表示などを行うことができます。

留守番電話を確認する

留守番電話は、ロック画面や「電話」アプリで確認できます。留守番電話を利用するには、「お留守番サービスEX」（有料）もしくは「電話きほんパック」（有料）に加入しておく必要があります。



留守番電話を聞く

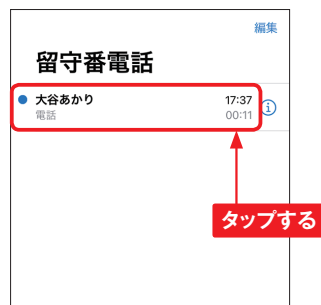
- ① ホーム画面を表示し、 をタップします。



- ② 「留守番電話」をタップします。



- ③ 留守番電話を聞きたい相手の連絡先をタップします。



- ④ ▶をタップすると、保存されたメッセージを聴くことができます。



留守番電話の呼び出し時間を設定する

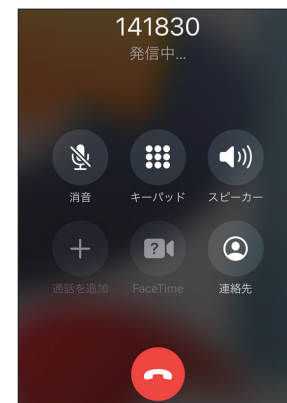
- ① P.38手順①～②を参考に「電話」アプリの「キーパッド」画面を表示し、「1418」と入力し、さらに留守番電話の呼び出し秒数（5～55秒。ここでは「30」）を入力します。



- ② をタップします。



- ③ 設定が完了すると、音声案内で「設定を承りました」とアナウンスされ、通話が終了します。なお、初期状態では24秒に設定されています。



相手に電話をかけ直す

電波の届かない場所にいるときは、すぐに留守番電話に転送されるため、着信履歴に発信元の電話番号が表示されません。この場合は電話番号がSMSで通知されるので、ホーム画面で をタップし、「141」に記載された電話番号をタップし、[発信]をタップします。



Apple IDに 支払い情報を登録する

iPhoneでアプリや音楽・動画を購入するには、Apple IDに支払い情報を設定します。支払い方法は、クレジットカード、キャリア決済から選べます。

クレジットカードを登録する

- 1 ホーム画面で「設定」をタップします。



- 2 自分の名前をタップします。



- 3 「支払いと配送先」をタップします。



- 4 「お支払い方法を追加」をタップします。



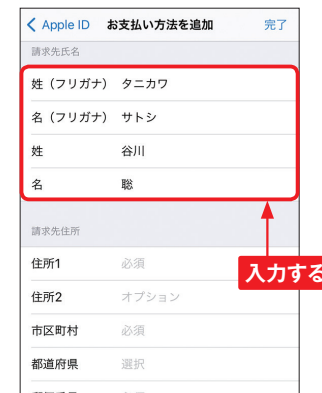
- 5 「クレジットカード/デビットカード」をタップします。



- 6 カード番号、有効期限、セキュリティコードを入力したら、「請求先住所」の自分の名前をタップします。



- 7 請求先氏名を入力します。



- 8 請求先住所を入力し、「完了」をタップします。

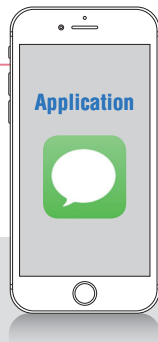


MEMO Apple Gift Cardを利用するには

支払いにクレジットカードではなく、Apple Gift Cardを利用する場合は、ホーム画面で「App Store」をタップし、🔄→「ギフトカードまたはコードを使う」の順にタップします。すると、カードのコードをカメラで読み取ってチャージすることができます。

iMessageの 便利な機能を使う

「メッセージ」アプリでは、音声や位置情報をスムーズに送信できる便利な機能が利用できます。なお、それらの機能を利用できるのは、iMessageが利用可能な相手のみとなります。



音声メッセージを送信する

- 「メッセージ」アプリでiMessageを利用中に、をタッチします。



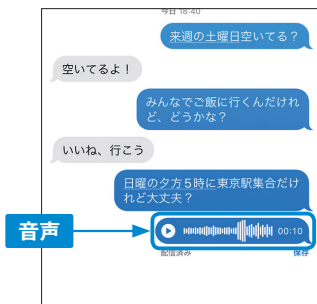
- 音声の録音が開始されます。画面をタッチしている間、録音されます。録音が完了したら指を離します。



- 音声をそのまま送信する場合は、をタップします。をタップすると、録音したメッセージが再生されます。をタップすると、キャンセルできます。

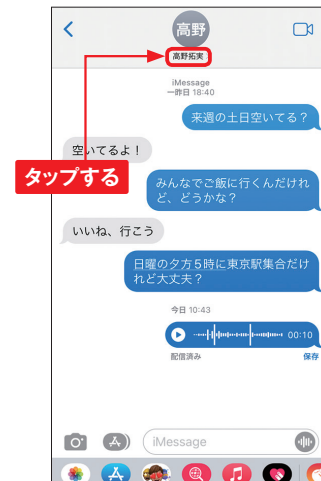


- 音声を送信されます。



位置情報をメッセージで送信する

- 「メッセージ」アプリでiMessageを利用中に、相手の名前をタップします。



- 「現在地を送信」をタップします。位置情報に関する項目が表示されたら「Appの使用中は許可」をタップして、「メッセージ」アプリの使用許可を行います。



- 位置情報が送信されます。タップすると「現在地」画面が表示され、さらに地図をタップすると、全画面で地図が表示されます。

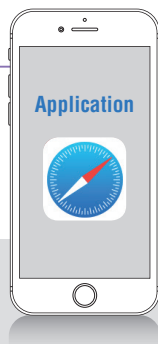


「メッセージ」アプリで 使える機能

手順①の画面でをタップすると、メッセージ内で使えるステッカーを探すことができます。をタップすると、スケッチやタップ、ハートビートなどを送信できます。をタップすると、GIF画像が表示され、メッセージに追加して送信できます。をタップすると、「ミュージック」アプリ内の曲を共有できます。なお、をタップすると、項目の並べ替えや削除ができます。

Webページを翻訳する

Safariでは、外国語のWebページを日本語に翻訳することができます。ここでは、英語のWebページ上の文章を選択して、日本語に翻訳する手順を解説します。



Webページを翻訳する

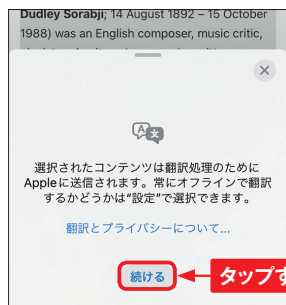
- ① 外国語のWebページを表示します。



- ② P.35手順①～②を参考に、翻訳したい文章を選択し、[翻訳]をタップします。



- ③ [続ける]をタップします。

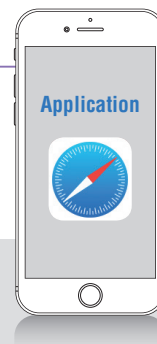


- ④ 手順②で選択した文章が翻訳されます。✕をタップすると翻訳が終了します。



プライベートブラウズモードを利用する

Safariでは、Webページの閲覧履歴や検索履歴、入力情報が保存されない「プライベートブラウズモード」が利用できます。プライバシーを重視したい内容を扱う場合などに利用するとよいでしょう。



プライベートブラウズモードを利用する

- ① Webページを表示した状態で、をタッチします。



- ② [プライベート]をタップします。



- ③ プライベートブラウズモードに切り替わります。



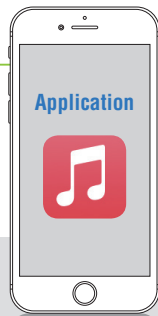
プライベートブラウズモードを終了する

プライベートブラウズモードを終了するには、手順②の画面を表示して、[○個のタブ] もしくは [スタートページ] をタップします。



Apple Musicを利用する

Apple Musicは、インターネットを介して音楽をストリーミング再生できる新しいサービスです。月額料金を支払うことで、数千万曲以上の音楽を聴き放題で楽しめます。



Apple Musicとは

Apple Musicは、月額制の音楽ストリーミングサービスです。ストリーミング再生だけでなく、iPhoneやiPadにダウンロードしてオフラインで聴いたり、プレイリストに追加したりすることもできます。個人プランは月額980円、ファミリープランは月額1,480円、学生プランは月額480円で、利用解除の設定を行わない限り、毎月自動で更新されます。サブスクリプションを購入すると、iTunes Storeで販売しているさまざまな曲とミュージックビデオを自由に視聴できるほか、著名なアーティストによるライブ配信のラジオなどを聴くこともできます。また、ファミリープランでは、家族6人まで好きなときに好きな場所で、それぞれの端末上からApple Musicを利用できます。なお、Apple Oneに登録することでもApple Musicを利用できます。Apple Oneは、Apple Music、Apple TV+、Apple Arcade、iCloud+の4つのサービスを個人プランは月額1,100円、ファミリープランは月額1,850円で利用できます。



Apple Musicのメンバーシップになると、プロフィールを登録したり、ほかのユーザーと曲やプレイリストを共有したりすることができます。



利用開始から3ヵ月間、無料でApple Musicを利用できるトライアルキャンペーンを実施しています（2022年3月現在）。

Apple Musicの利用を開始する

① ホーム画面で「今すぐ聴く」をタップし、[今すぐ聴く]をタップします。



② [今すぐ開始]をタップします。



③ アカウントを確認し、[サブスクリプションに登録]をタップします。



④ 気になるジャンルとアーティストを画面に従って登録し、[完了]をタップするとApple Musicの利用が開始します。



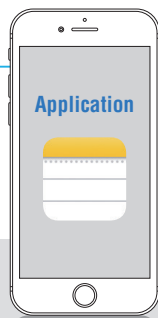
サブスクリプション購入のお知らせを確認する

Apple Musicのサブスクリプションを開始すると、Apple IDのメールアドレス宛に「サブスクリプションの確認」という件名でメールが届きます。このメールには、購入日や更新価格などが記載されているので、大切に保管しましょう。



メモを利用する

iPhoneの「メモ」アプリでは、通常のキーボード入力に加えて、スケッチの作成や、写真の挿入などが可能です。iCloudと同期すれば、作成したメモをAppleのほかの製品と共有できます。



メモを作成する

- 1 ホーム画面で「メモ」をタップします。初回起動時は説明画面が表示されるので、「続ける」をタップします。



- 2 [メモ] をタップします。



- 3 新規メモの作成画面が表示されます。キーボードで、文字や絵文字を入力することができます。入力完了したら、「完了」をタップし、保存します。

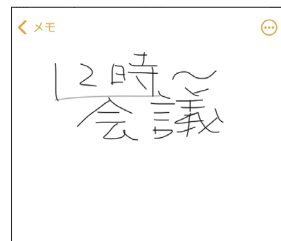


- 4 手順③の画面でAaをタップすると、下のメニューから文字の大きさや太さ、装飾などを選ぶことができます。



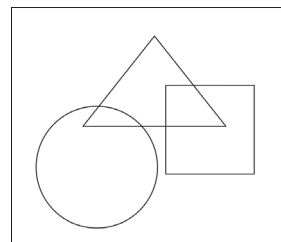
「メモ」アプリの機能

● 手書きスケッチ



P.176手順③の画面で④をタップすると、手書き入力モードに切り替わります。画面をドラッグすることで、文字や絵を描くことが可能です。また、画面下部に表示されているペンをタップすることで、ペンの種類を変更できます。✏️をタップすると消しゴムを利用でき、👉をタップして文字を囲むと、囲んだ文字の移動ができます。

● 図形認識



手書き入力モードの際、自由に描いた図を直線や三角形などの図形として認識する機能が付いています。画面をドラッグし、一筆で図を描きます。そのまま画面から指を離さずにいると自動で図形に認識してくれるので、任意の図形に認識されたら指を離します。

● 写真内の文字検索



P.176手順③の画面で📷をタップし「書類をスキャン」をタップするとメモに読み込んだ写真内の文字（英数字）が自動的に解析され、P.176手順②の画面で検索することができます。写真やスクリーンショットであれば文字認識の対象になりますが、本書執筆時点では日本語表記（かな／漢字）の文字認識には対応していません。

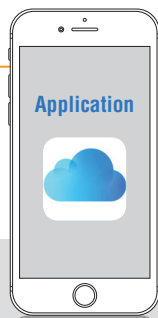
● メモのピン留め



メモ一覧の画面を表示し、ピン留めしたいメモを右方向にスワイプして、📌をタップします。すると、メモ一覧の上部に、選択したメモが固定されて表示されます。ピン留めを外す場合は、固定されたメモを右方向にスワイプし、📌をタップします。

紛失したiPhoneを探す

iCloudの「探す」機能で、iPhoneから警告音を鳴らしたり、遠隔操作でパスコードを設定したり、メッセージを表示したりすることができます。万が一に備えて、確認しておきましょう。



iPhoneから警告音を鳴らす

① パソコンのWebブラウザでiCloud (<https://www.icloud.com/>) にアクセスします。iPhoneに設定しているApple IDを入力し、➡をクリックします。



② パスワードを入力し、➡をクリックします。



③ [iPhoneを探す] をクリックします。



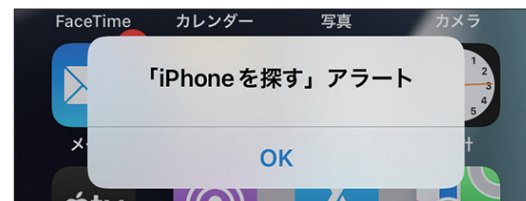
④ Apple IDとパスワードを求められた場合は入力して、⌵をクリックします。iPhoneの位置が表示されるので、[すべてのデバイス] をクリックして、[iPhone] をクリックします。なお、表示される名前はデバイスによって異なります。



⑤ [サウンド再生] をクリックします。



⑥ iPhoneの画面に、メッセージが表示され、警告音が鳴ります。

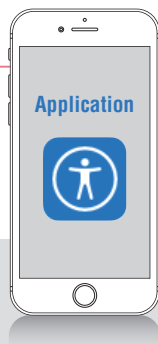


MEMO 最後の位置情報を送信する

「iPhoneを探す」機能は、iPhoneの電源がオンになっている状態でしか利用できません。しかし、[設定] → 自分の名前 → [探す] → [iPhoneを探す] の順にタップして「最後の位置情報を送信」をオンにすると、バッテリーが切れる少し前に、iPhoneの位置情報が自動で、Appleのサーバーに送信されます。そのためiPhoneのバッテリーがなくなって電源がオフになる寸前に、iPhoneがどこにあったかを知ることができます。

背面タップでアプリを起動する

iPhoneの背面を2回または3回タップすると、アプリを起動したりiPhoneをロックしたりできる「背面タップ」という機能があります。初期設定ではオフとなっています。



背面タップを設定する

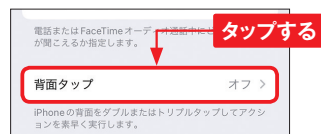
- ① ホーム画面で[設定]をタップして、[アクセシビリティ]をタップします。



- ② [タッチ]をタップします。



- ③ [背面タップ]をタップします。



- ④ [ダブルタップ]をタップします。

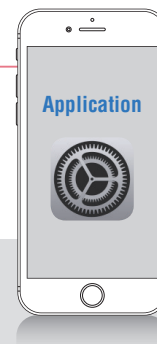


- ⑤ 背面をダブルタップしたときに行う動作をタップして割り当てます。トリプルタップの動作を割り当てるには、手順④で「トリプルタップ」をタップして同様に操作します。



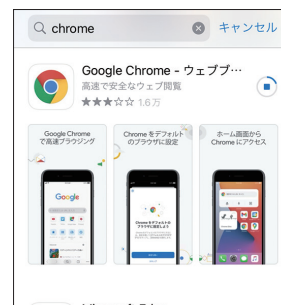
デフォルトのアプリを変更する

デフォルトで起動するアプリを変更することができます（2022年4月現在、ブラウザとメールのみ対応）。ここでは、ブラウザアプリを変更します。



標準のブラウザをChromeにする

- ① 「App Store」でSec.45を参考に、あらかじめ「Chrome」アプリをダウンロードしておきます。



- ② [設定] → [Chrome]の順にタップします。



- ③ [デフォルトのブラウザApp]をタップします。



- ④ [Chrome]をタップしてチェックを付けます。

